



もう一度太陽熱温水器に注目を！

木原浩貴（京都府地球温暖化防止活動推進センター スタッフ
・財団法人 省エネルギーセンター 省エネルギー普及指導員）

太陽エネルギーの利用というと太陽光発電だけをイメージしがちですが、熱として利用する方法も非常に有効です。家庭で最も簡単にできる太陽熱利用の方法は、太陽熱温水器を設置すること。家庭のエネルギー消費の約3割は給湯に使われていますので、太陽の熱を給湯に利用することで、家庭で使われるエネルギーを大きく削減することができます。

一口に太陽熱温水器と行っても様々な種類があります。現在最も普及しているのは、集熱版と貯湯槽が一体となって屋根の上に乗っているタイプで「自然循環型」と呼ばれます。価格は30万円程度。経済的には10年程度でもとがとれます。

貯湯槽と一体となった集熱器が円筒形をしており、あらゆる角度から集熱をすることが可能な「真空貯湯型」と呼ばれるタイプもあります。魔法瓶と同じようにガラス管と集熱管の間が真空になっており、集めた熱が逃げにくくなっているのが特徴です。また冬季にも凍結しづらい、水道管直結なので水圧をそのまま利用できる、水がまったく空気に触れないので水質が悪化しない、といった優れた特徴をもっています。製造にかかるエネルギーは、わずか

5ヶ月間程度の使用で回収することができるそうです。価格は60万円程度、15年前後で経済的にペイします。

また、集熱器と貯湯槽が分離され、集熱器は屋根の上に乗せ、貯湯槽を地上に設置する「ソーラーシステム（強制循環型）」と呼ばれるタイプもあります。屋根に重い水を載せなくても良いというメリットがあります。少しシステムが複雑な分値段が高く、100万円程度かかるようです。

太陽熱温水器は、発電を行う他の自然エネルギー利用方法に比べて古いイメージを持たれがちですが、「温暖化対策」という目を見た時、その効果は新鮮な驚きを持って見つめ直されることでしょうか。もう一度温水器に注目し普及させていくことが、効果的な温暖化対策になりそうです。「太陽光発電は高くてちょっと手が出ない」という人も、ぜひ太陽熱温水器の設置を検討してみてください。

価格等のデータの出所：

エコ住宅・エコ機器による世帯あたりCO2削減効果の推定（環の国くらし会議）
日本電気硝子株式会社提供資料



グリーンファンドから生活が照射

掃部 和代

月に2～3回事務局のお手伝いをさせていただいています。「発電所設置」の取り組みからは、大きなエネルギーが伝わってきます。発電所を設置した保育所や幼稚園で太陽や雨の様子に関心を持つ子どもたちが育ち、若いお父さんお母さんたちも一緒に、自然エネルギーを考える人の輪を広げていく意義深い活動だと、感心しています。

この通信の「省エネや節電の工夫など」の記事を読むにつけ、わが家の生活を見直すべき点多々気づかされます。しかし、節電節電と思いついても、気がつけばもとの生活に……。このぐりふあんレターは、忙しさにかまけ便利さに気を奪われてきた我が生活を見直す場になっています。